【 魚道の工法一覧(水路魚道)】

水路魚道の各工法の特徴を以下に示します。施工にあたっては、生息する魚類や、立地条件、コストを考えて、水路魚道の工法を選定します。①階段型と隔壁型（千鳥Ｘ型）は、プール内の土砂の堆積やゴミの引っかかりに注意する必要があります。⑦隔壁型（ハーフコーン）は、大きな河川の頭首工等に施工されるケースが多くみられます。⑨片斜面粗石付魚道は、多様な流れが形成されて多くの魚種に有効であるとともに、通水障害を起こしにくいことから、優れた魚道であるといえます。

工法	特　徴	施工例
⑤階段型 p.61	・階段式のプール部を設け勾配を調整した魚道。 ・浮遊土砂が多い水路では、プール部に土砂が堆積しやすく除去管理が必要です。 ・流量が少なくなると越流深が浅くなり、体高の高い魚類は遡上困難となります。	 岩手県　いさわ南部地区
⑥隔壁型 (千鳥 X 型) p.62	・千鳥 X 型を、水路内の落差に設置した魚道。 ・草刈り直後は、ゴミの引っかかりに留意する必要があります。 ・幅の広い水路の一部に設置する場合は、通水阻害が起きないように、また、魚類が魚道の入り口を見つけやすいように設置します。	 栃木県　西鬼怒川地区
⑦隔壁型 (ハーフコーン型) p.63	・越流部の隔壁を円筒状(ハーフコーン）で対応した魚道。 ・多種多様な魚類の遡上が可能となります。 ・比較的大きな河川の頭首工や取水堰などで多く施工されています。	 東京都　多摩川
⑧片斜面粗石付魚道 p.64	・斜路に粗石を配置することで、流速を減勢して多様な流れを創出した魚道。 ・横断面も傾斜を設けることによって多様な流れと水深を創出し、より多くの魚種の遡上が可能です。 ・全段面式でプールがないため、ゴミの引っかかりや土砂の堆積が起きにくく、現況水路と同じ幅で設置できます。	 福井県大野市　下舌・上黒谷地区